

平成21年度予算の概要

「財政健全化法」に対応しながら、 産業振興や福祉・教育に配慮した予算！

■一般会計

一般会計予算額は、前年度当初予算に比べて1億5,700万円（1.1%）の減となる予算となりました。これは、光洋団地3の2号棟の着工による増がありましたが、間接補助事業の「北海道水産業振興構造改善事業」の終了による減が主な要因となっています。

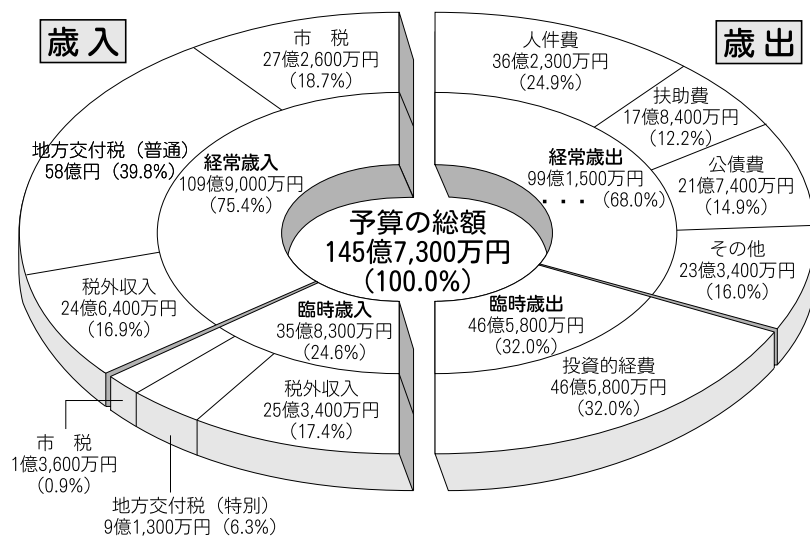
歳入は、地方交付税が全体の46.1%を占め、次いで市税19.6%、市債8.3%、道支出金7.7%などの順となっています。

また、市が独自に調達できる自主財源は、前年度当初に比べ2億5,000万円（5.7%）の減となり、全体に

対する自主財源の割合は27.4%と、前年度当初に比べて1.4ポイントの減となっています。

歳出は、目的別にみると職員費、民生費、公債費、土木費で全体の70.5%を占めており、性質別では、義務的経費（人件費、公債費、扶助費）が前年度当初に比べて6,900万円（0.9%）の減となっています。

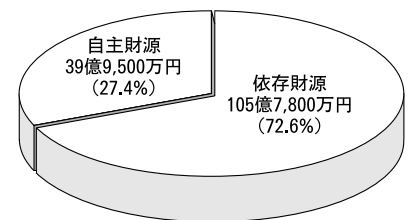
普通建設事業（公共事業）では、市営住宅整備事業、小学校校舎等整備事業、舗装新設事業などを実施しますが、前年度当初に比べ11.3%（1億9,500万円）の減となっています。



○財源の構成（一般会計）

自主財源：市税、使用料及び手数料、財産収入、繰入金など

依存財源：地方交付税、国庫支出金、道支出金、市債など



総額 145億7,300万円 (100.0%)

■特別会計

特別会計とは、特定の収入を財源として特定の事業を行うため、一般会計とは区分して経理する会計です。

会計名	21年度当初予算額	20年度当初予算額	比較増減額	伸び率
交通共済	9,471千円	9,703千円	△232千円	△2.4%
国保事業	4,113,600千円	4,243,200千円	△129,600千円	△3.1%
老人保健	1,620千円	356,862千円	△355,242千円	△99.5%
汚水会計	26,651千円	26,287千円	364千円	1.4%
農業用水	62,404千円	47,690千円	14,714千円	30.9%
介護保険	1,369,001千円	1,249,274千円	119,727千円	9.6%
後期高齢者	301,946千円	320,392千円	△18,446千円	△5.8%
合計	5,884,693千円	6,253,408千円	△368,715千円	△5.9%

■特別会計および企業会計への繰出金の状況

特別会計や企業会計に対して各事業の推進を図るため、法令等に基づいて一般会計が一定の額を負担することとしているもので、特別会計へは繰出金として、また、企業会計へは支出金として経理されます。

会計区分	予算額	増減率	繰出する内容
特別会計			
交通会計	329千円	△3.5%	要保護世帯等の共済費分
国保事業	344,409千円	△3.4%	保険基盤安定制度に基づく繰出金ほか
老人保健	190千円	△99.4%	医療給付経費、医療支給経費等の負担分（遡及分）
汚水会計	18,671千円	2.0%	汚水処理施設使用料の収入を控除した不足額
介護保険	220,964千円	9.1%	職員の人件費および介護給付費等の負担分
後期高齢者	86,888千円	△3.4%	職員の人件費および保険基盤安定の負担分
小計	671,451千円	△3.7%	
企業会計			
港湾会計	59,394千円	△7.3%	会計間協議に基づく負担分
水道会計	32,359千円	△28.5%	消火栓新設等の負担金など
下水道会計	495,555千円	△16.9%	雨水処理経費等の通達に基づく支出金ほか
病院会計	759,542千円	24.5%	基準内繰出金のほか、へき地医療確保に要する補助金等
小計	1,346,850千円	2.4%	
合計	2,018,301千円	0.3%	